

「向学の熱」

令和4年度 竜北中学校 学校便り 第4号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

鍛錬の汗 光る！ ～八代中体連総合体育大会結果～



6月下旬（水泳は7月2日）に「八代中学校体育連盟 総合体育大会」が行われ、本校から“軟式野球・バレーボール・卓球・サッカー・バドミントン・バスケットボール・柔道・剣道・水泳”の9つの種目に竜中生が出場しました。25日には雷雨もあり、一部の種目が延期になるなどしました。保護者の皆様には、感染対策をしながらの応援や送迎等、大変お世話になりました。大会の結果、柔道部が男子団体戦で優勝、個人戦でも5名（2年：内山大雅、松岡光琉、3年：直江匠真、

松岡偉武希、山田悠大朗）が優勝し県大会へ、水泳も2名（1年：永田陸、2年：山本百日花）が標準記録を突破して、県大会へ出場しました。その他の入賞した種目・個人は、バレーボール3位、柔道個人戦3位（2年：稲田俊太、藤田琉樹弥、錦戸梨恋）という結果でした。

他の種目でも、3年生を中心にこれまで積み上げてきた成果をしっかりと発揮できたようです。これからは、2年生・1年生が先輩方の思いを受け継ぎ、竜中の伝統を守ってくれるはずです。



15の春を輝かせるために ～中学校区拡大CSの取組～

竜北中学校区では、小学校の2校と本校のCS（コミュニティ・スクール）委員で構成された中学校区拡大大学校運営協議会が、『15の春を輝かせるために』をテーマに活動しています。「義務教育が終了し中学校を巣立つ“15歳の春”を、夢と希望と自信をもって迎えて欲しい」そのためにCS委員として自分たちに何ができるかを考え、小・中の学校運営協議会が連携・協力した取組を進めています。今年度も、11月5日（土）のCSの日（オータム交流会）に向けての活動がスタートしました。今年で3回目となるオータム交流会ですが、「ふるさと氷川の魅力を中学生が小学生に伝える」授業を行います。



7月14日には、中学生が決めたテーマについて「〇〇さんに話を聞きに行ってください」「収穫の時に、写真を撮らせてもらいたいね」などCS委員のアドバイスを受けながら調べ学習の計画を立てる生徒の姿がありました。



これから当日の授業まで、あと3回ほど中学生とCS委員とで話し合いをしながら準備を進めていきます。この取組を進める中で、中学生が改めてふるさと氷川の良さに気づき、小学生に授業という形で伝える活動を通して自己有用感や達成感を味わうことができると考えます。本町の素晴らしい取組がさらに充実して行くよう、CS委員の皆さんとともに頑張ります！

夏休みを前に 「自分や他者を大切にす氷川っ子」

7月21日からいよいよ夏休みに入ります。1学期の終業式では生徒に次のような話をしました。『自分を大切にすること：夏に多くなる水の事故や熱中症、交通事故、新型コロナウイルス感染症等から、自分を守るためにしっかりとルールを守る。自分の行いが正しいかどうか、考え・判断し行動すること。何より自分の「命」を大切にして夏休みを過ごして欲しい。

他者を大切にすること：SNS等は、とても便利で今の生活には欠かせないものになっている。くれぐれも間違った使い方での他人を傷つけたり、いじめにつながったりすることがないように、もう一度使用上のルールを保護者と確認すること。また、長い休み中には家の手伝い等も進んで行き、家族の一員としての役割もしっかりと果たすこと。』 充実した夏休みを過ごし、2学期始業式に生徒・先生全員が笑顔で会いましょう！

